

# 3月



大分県立大分高等学校  
きらめきタイム

## きらめきタイム 三月号

今年度の「きらめきタイム」もいよいよ最終回。最後はやはり六年生に締めくくってもらわなければなりません。

今回のテーマは「在校生に伝えたいこと」です。「あこがれられる六年生」として一年間頑張ってきた感じたことを発表してもらいました。熱い思いを紙面でお伝えします。

『みんなへのメッセージ』

六年一組

すみだ  
角田 ひなたさん

私が今、一番に思うことはもう一ヶ月もしないうちに卒業するんだなということ。勉強も終わりにそうないし、みんなも卒業するということでもないから、もうすぐ卒業という実感がわきません。できるならば、私はこのままのメンバーで中学に行きたいです。でも、それは無理なので残された日をめいっぱい楽しんでいい思い出を作っていきたいです。

まず一年生、次は二年生です。一年生が新しく入って来るので、学校探検など一年生にいろいろ教えてあげてください。

二年生、三年生は社会見学があります。初めての社会見学をルールの中でいっぱい楽しんでください。

三年生、四年生になると宿泊学習があります。その時の野外学習で作ったごはんはすごくおいしいです。

四年生、五年生は大変です。来

年のために学ぶことがすごくいっぱいあります。がんばって覚えて六年生になった時、それらを一年生から五年生に教えてあげてください。

そして五年生、次は最高学年です。私たちの時は「あこがれられる六年生」を何かあるたびにいやはと言われました。多分、次も言われると思います。でも、それはいやとは思わずに、「あこがれられる六年生」をめざしてがんばってください。私たちのいいところはまねをして、超えてほしいなと思います。と私たちを超えてください。

私たちは「あこがれられる六年生」になれるかはわからないけど、私たちは私たちにがんばっています。卒業式の日まで最高の「あこがれられる六年生」をめざしてがんばるつもりです。もし、なれなかったら私たちの実力はそこまだったということ。もちろん、そう終わらせるつもりはありません。卒業するまでの残りの一日一日を「あこがれられる六年生」を達成するために全員で全力でがんばります。

最後に今までお世話になった先

生方や在校生のみなさん、本当にありがとうございました。

「あこがれられる六年生」をめざして、残りの日々も全員でがんばろうという熱い思いが伝わってきます。



卒業式の日まで  
あこがれられる6年生  
をめざして...

## 『ゴールの先』

六年二組

竹内 あいさん

私は三月二十日に卒業するという実感が全くわきません。

四月、六年生になりました。六年生になってからの初めての学年集会で「あこがれられる六年生になろう」という学年目標が発表されました。私はこの時に気づきました。今度は私たちが見本にならないといけないんだということに気づきました。でも、この時はどんなことが「あこがれられる六年生」なのか分かりませんでした。

七月、たてわり活動が始まりました。最初一年生を迎えに行った時、何だか一年生は不安そうでした。自己紹介の時はとても不安そうなお声で勇気を出して自己紹介をしてくれました。その時、私は何も声をかけてあげられませんでした。でも、たてわり活動が二回目、三回目になってくると、一年生はだんだん慣れてきたのか、話してくれるようになりました。一年生の教室に迎えに行く時も、最初と

は違って笑いながら自分から来てくれるようになりました。話しかけると話し返してくれてとてもうれしかったです。私はこういうふうに一年生と仲良く話すのも、「あこがれられる六年生」になるということに近いのかなあと思いました。私はこの時「あこがれられる六年生」ということの意味が分かりました。

三月二十日はゴールでありスタートでもあると私は思います。ゴールの先にはスタートがあるということなんです。そのことを在校生に伝えたいと思います。六年生というゴールの先には中学生というスタートがあります。だから、私は六年生が終わっても「あこがれられる」という言葉を忘れないでいこうと思います。

卒業までの残りの時間を大切にゴール、そしてスタートに向かってがんばりたいです。

なるほど、最後まで読んで題名の意味がよく分かりました。一年生のことを思いやる気持ちもすてきです。

ゴールの先には  
「中学生」という  
スタートが待っている



## 『この一年間で』

六年二組

元氏 健太さん  
もとじ けんた

三月二十日でぼくは嵐山東小学校を卒業し中学生になります。そして、それからは今の五年生が、この嵐山東小学校の最上級生になります。

ぼくは六年生になった時、今年の一年間を特別な一年にしようと思いました。なぜなら、小学校生活最後の年だからです。運動会や学芸会などの行事が最後になるからです。

七月から「たてわり活動」が始まりました。去年までしたことがなかったので「楽しみやな」という期待と「みんなをまとめられるかな」という不安の両方がありました。

一回目はみんなあまりしゃべらずに終わってしまいました。ぼくは「なぜみんなしゃべらないのかな」と考えました。そして、「六年生が引っ張ればいいのではないか」と思うようになりました。そして「これからは積極的に話しか

けよう」そう思いました。二回目以降からは、なるべく自分から話しかけていきました。そうするうちに「たてわり活動」が楽しみなっていききました。

日頃、先生は「あこがれられる六年生」というキーワードをよく言います。この「たてわり活動」でも、ぼくは「あこがれられる六年生」という言葉を思い浮かべて意識しながら行動しました。「たてわり活動」の時に少しづつ「あこがれられる六年生」近づけたかなと思います。みなさんにはこれから「たてわり活動」を受け継いでほしいです。

ぼくは三月二十日で卒業します。この一年間で、ぼくは「あこがれられる六年生」をめざしてがんばってきました。正直、できていないかもしれないけど、来年度最上級生になる五年生には「あこがれられる六年生」になってほしいです。

「たてわり活動」は「あこがれられる六年生」を見て感じてもらうにはとてもいい機会でしたね。良かった！

たてわり活動を  
しっかり受け継いで  
いってください

最上級生らしい  
発表をしてくれました



## 『伝えたいこと』

六年一組

乾 いぬい  
真優 まゆ  
さん

私はみなさんに共通する伝えたいこととそれぞれの学年に伝えたいことがあります。

一年生。いろんな人たちにしてもらった優しさと学校の楽しさを来年度に入学する一年生に教えてあげてください。みなさんも入学する時、楽しみと不安があったと思います。それをほぐしてあげてください。

二年生。来年度今の一年生が二年生になった時、みなさんが今の一年生にしてあげたことをします。自分たちがしてあげた時の工夫や出来事を教えてあげてください。今の一年生がどうすればいいか不安になった時に助けてあげてください。

三年生。自分のことだけじゃなく、相手のことを考え、協力することと自分たちで考えて行動することを忘れないでください。四年生になるとみさきの家に行きます。そこでは協力がとても大切です。

自分のことだけを考えていたら、自分が楽しくても他の人は楽しくなくなります。そして、先生が言うてからじゃなく、自分たちで考えて行動するのも大切です。集合の時間に遅れないようにするにはどうすればいいかなど、みんなで考えてください。

四年生。来年度は今の五年生をひそかに支え手伝ってください。そして、五年生の良いところを見習ってまねをしてください。私も特に組体操で支えられました。そして、良いところを見習いまねをすると、負けるものかと五年生はもっとがんばります。それについていってください。

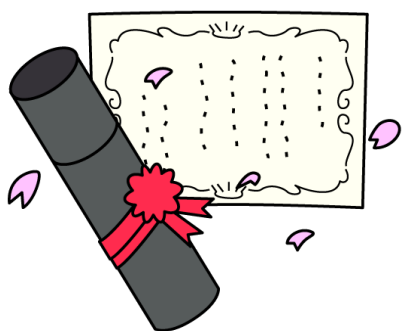
五年生。支えてくれてありがとうございます。うございます。五年生の良いところを見せられてもっとがんばれました。だから、六年生になった時、来年度の五年生と良いところの競争をしてください。勝ち負けじゃなく、良いところを伸ばしてください。そして、この学校のリーダーとして引っ張ってってください。

六年生。今までありがとうございました。支えてくれたり、教え

てくれたり、優しくしてもらったりして本当にうれしかったです。中学生になってお別れする人もいるけど、お互いに新しいことを学び楽しんでいきましょう。

みなさんに共通して伝えたいことは楽しむことと、この学校を大切にすることと感謝です。私たちのためにいろいろしてくれた方々に感謝して、この嵐山東小学校を大切にしてください。私はこの学校、先生方、地域の方、そして親にとっても感謝しています。本当にありがとうございます。これが私がみなさんに伝えたいことです。

とてもいいねいな在校生へのメッセージです。こんな気持ちで毎年バトンタッチされるとすてきですね。



嵐山東小学校を  
大切にしてください

